

平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	発酵のまちづくり推進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目
部等名	産業経済部	課等名	工業課	内線	4433	1	7	1	5	13	3
政策体系上の位置付け	政策	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり				関連計画、条例等	三遠南信バイタライゼーション(産業クラスター事業)				
	施策	連携融合による産業育成									
	基本事業										
事業区分	政策的事業	新規、継続区分	継続								
事業期間	16年度～	16年度	環境調整会議の必要性	なし							

【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを旨とします。

目的の記述	対象 (人・物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)				
	講座に参加してもらおう 御膳の取り組みに参加してもらおう 新商品を開発してもらおう	市民 飲食店 食品企業	市民(人)	当初(15)	107000	17年度	107000
			16年度	107000			
飲食店数(店)		当初(15)	1500	17年度	1547		
		16年度	1547				
意図 (成果は何か、対象をどうかえるか)		成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値 (実績・目標)				
		講座への参加人数(人)	当初実績(15)	600	最終目標		
	16目標		538	16実績	610		
	17目標	1000					
	御膳参加店舗数(店)	当初実績(15)	2	最終目標			
		16目標	2	16実績	2		
		17目標	10				

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
		発酵をキーワードに人と食、農を結びつける事業である。専門家による新商品等開発企業相談会やトレーサビリティ、マーケティング等も視野に入れた講座を開催し産業の活性化を促す。また、学生のうちから食の大切さを知り興味を持ってもらえるよう出張出前講座を開催すると共に、発酵食品と地元食材を使用した「発酵御膳」の販売促進に力を入れ子供から大人まで発酵、スローフードに親しみ健康な毎日を送ってもらおう。	16年度の実績 新商品開発等企業相談会、講座(トレーサビリティ、マーケティング等含む) PR活動(発酵御膳販売促進、発酵食品紹介等) 下伊那農業高校への出張出前講座	相談会、講座開催回数(回)
17年度計画 地域ブランド構築事業に統合する				

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額	特定財源内訳
事業費	国庫支出金				
	特定県支出金				
	財源				
	起債				
	その他				
	一般財源	700	462	0	
	事業費計(A)	700	462	0	
人件費	正規職員所要時間	369	369	0	
	臨時職員等所要時間				
	人件費計(B)	1,299	1,299	0	
	トータルコスト A+B	1,999	1,761	0	

(3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値			
	発酵や食に興味を持ち健康になる 学生は発酵や食に関わる仕事に就く 御膳がよいブランドになる 食品産業が活性化化する	学生の食品関連企業への就労数(人)	16目標	8	16実績	データなし
17目標			10			
食品製造品出荷額等(億円)		16目標	289	16実績	273	
		17目標	289			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成13年度、発酵の権威である東京農業大学小泉武夫教授との関わりの中で、地域産業の活性化のため、また住民の健康のため地域にご尽力いただけることになった。 飯田市長、小泉教授が共に「発酵のまちづくり」を進める事を市民にアピールし始めた。	発酵のまちづくりのきっかけとなった小泉教授は、毎年数回ずつ来飯し指導にあたって頂いていたが、執筆活動やテレビ出演等で大変多忙になってきたため、ポイントを絞り込み活動支援をお願いする。	市民...もっと身近な事業として取り組んで欲しい。(料理教室など) 市民とおしの交流の場(食について語れる機会)を増やして欲しい。 企業...小泉教授と懇談する機会を設けて欲しい。

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響は?	(評価) 影響なし (その理由)
	意図の見直しの必要性は?	(評価) 必要性がある (その理由)		類似事業の有無と統合の可能性(市以外の取組も含む)	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性は?	(評価) 必要ある (その理由)		効率性評価 成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価 受益者は誰か?負担の是非、程度は妥当か?	(評価) 妥当でない (その理由)	

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか改革改善案)	改革改善案実施の課題と克服方法
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <div style="margin-left: 20px;"> } 時期(年度) <input type="text"/> </div>	「地域ブランド構築事業」と統合する。	